

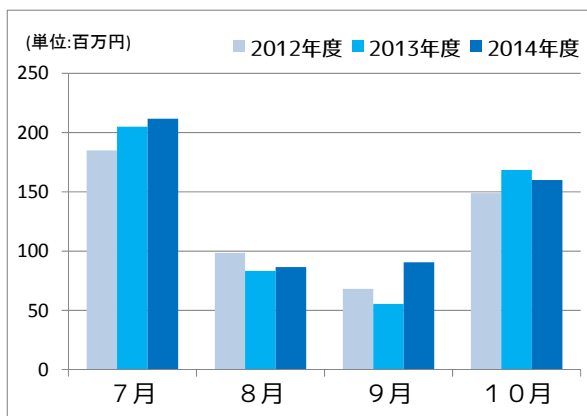


# ハイライトよねやま 176

2014年11月12日発行  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

## 寄付金速報 — 米山月間のご支援に感謝いたします! —

10月までの寄付金累計は前年同期と比べ7.1%増、約3,650万円の増加となりました。10月単月の寄付金、約1億6,000万円は昨年度実績には届かなかったものの、直近7年間で2番目に高額となり、今年度は好調を維持しています。米山学友を含め、多くのロータリアンの方々からのご寄付に心より厚く御礼申し上げます。上期も残り2カ月を切りましたが、今後も引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



## 2015 学年度奨学金申し込み状況

2015学年度の米山記念奨学金(学部・修士・博士課程/地区奨励)には、指定校533校(前年度531校)から1,315人(同1,296人)が推薦されました。被推薦者の国籍・地域別にみると、中国が56.9%(同59.5%)、韓国13.9%(同13.6%)、台湾2.6%(同4.3%)、その他が26.6%(同22.6%)となっています。前年に引き続き中国の割合が減少し、その他の国籍が増加しました。その他の国籍で多かったのは、ベトナム、マレーシア、インドネシアなどです。

奨学金別では、博士課程が21.0%(同19.5%)、修士課程40.1%(同38.6%)、学部課程34.5%(同32.9%)、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8地区12校から計20人の応募が、また、現役奨学生の延長制度「クラブ支援奨学金」には7地区9クラブから、そして、試行4年目となる「海外応募者対象奨学金(個人応募)」には、32件の応募(採用枠は14地区、各地区で最大3人)がありました。

11月中旬から、各地区へ応募書類を発送し、1月下旬までに地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用者543人(2014年11月現在)が決定します。

## 秋の叙勲 — ミャンマーの学友が旭日小綬章を受章 —

11月3日、平成26年秋の叙勲者が発表され、米山学友で元ミャンマー元日本留学生協会会長のアウン・チョウさん(1962-66/東京北RC・東京南RC)が、旭日小綬章を受章されました。



アウン・チョウさん(右)ご夫妻

アウン・チョウさんは1966年に東京大学で医学博士号を取得し、帰国後はミャンマーで2人目の脳神経外科医として長年活躍されました。退職後は、Myanmar Academy of Medical Scienceの事務総長に就任したほか、日本政府の国費留学生の面接官やミャンマー元日本留学生協会会長など、日本留学にかかわる要職を歴任。2007年訪日時には、留学中の4年間を支えた米山記念奨学金への感謝を、世話クラブの思い出とともに伝えてくださいました。栄えある受章、おめでとうございます!

## 米山奨学生が市長表敬訪問、高校生と交流【第 2640 地区】

第 2640 地区（大阪府・和歌山県）米山奨学生が 10 月 14～15 日、同地区米山奨学委員会が企画した研修旅行に参加し、和歌山県田辺市長の表敬訪問や県内高校生との交流を行いました。

台風上陸の影響により、研修旅行は当初の予定から半日遅れでスタート。14 日は田辺市役所で真砂市長と懇談し、奨学生はそれぞれの専攻を生かして地域活性化に向けた提案をしたり、市長から市の紹介を受けたりしました。同日夜には、田辺東・田辺はまゆう両ロータリークラブによる歓迎を受け、ロータリアンとの交流や獅子舞の披露を楽しみました。

翌 15 日は、世界遺産の熊野古道、荘厳な雰囲気漂う熊野本宮大社を見学。続いて和歌山県立熊野高等学校を訪れ、同校の「KUMANO サポーターズリーダー」の生徒 48 人と生徒会役員 4 人との交流がスタートしました。グループディスカッションで母国の紹介や日本の印象について語り合った後、高校生と共にダンスを楽しみ、最後は、サプライズ演出で高校生たちが手をかざして作ったトンネルの中を奨学生が笑顔でくぐり、固く手を握りながら別れを惜しむ姿があちこちに見られました。参加した奨学生の王竹さん（中国／大阪千代田 R C）は「日本の部活動に初めて触れ、みんなの仲間を思う気持ち、全身全霊で踊る姿に、たくさんのパワーをいただいた」と、振り返りました。



## 故郷の発展に尽くした米山学友 — 数万人の市民が追悼 —

中国甘肅省定西市臨洮県の県長（日本では市長に相当）を務めていた米山学友、柴生芳さん（2001-02／神戸中 R C）が 8 月 15 日、45 歳の若さで亡くなりました。柴さんは神戸大学大学院を卒業後、貧しい故郷のために働きたいと故郷に戻り、留学経験のある数少ない官吏として活躍。県長就任後は執務室のドアを開放し、市民の声を最優先する指導者として慕われていましたが、過労もあってか、同日朝に亡くなりました。葬儀の日には数万人の市民が沿道に出て、故人を乗せた車を見送りました。留学時代から親交のあった学友の宋小華さん（2000-02／神戸ハーバー R C）が中国米山学友会上海分会と中国神戸大学同窓会を代表して、夫人と幼子のために香典を届け、哀悼の意を表しました。柴さんのご冥福を心よりお祈りいたします。



奨学生時代の故・柴さん(左)と  
永井幸寿 カウンセラー

### 普通寄付金 申告用領収書の申請は 11 月末まで

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は 11 月 30 日です。当会ホームページのメニュー、

[寄付金について](#) → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。

特別寄付金については来年 1 月下旬にクラブ経由で送付しますので申請不要です。